

北朝鮮の核実験に抗議する声明

9月3日、北朝鮮が、過去最大規模となる6回目の核実験を実施したと発表した。

金正恩朝鮮労働党委員長の政権下では4回目の核実験となり、広島平和記念資料館内に設置されている「地球平和監視時計」が前回の核実験からの日数を359日でゼロにリセットされた。

度重なる大陸間弾道ミサイル（ICBM）の発射と同様、今回の北朝鮮の常軌を逸した行動は、新たな段階の脅威である。

核軍縮・不拡散に向けた国際社会の真剣な取り組みと真逆の行為であるばかりか、国連安全保障理事会の数々の制裁決議や関係国の警告を無視する愚挙であり、到底許し難く強い怒りを覚える。

また、今回の北朝鮮の度重なる行為は、「非核平和都市宣言」を表明している赤穂市民の生活と安全をも脅かすとともに、地域と国際社会の平和と安全を著しく損なう、断じて許すことのできない極めて遺憾な行為である。

今回の北朝鮮の暴挙に対し、最も強い口調で断固非難するとともに、すべての核兵器と核計画を放棄するよう強く求める。

平成29年9月4日

赤穂市長 明石元秀
赤穂市議会議長 有田光一